

令和2年度 事業報告書

I. 法人の運営状況

- 当法人は、認定こども園あいいくの丘の運営を行っている。また、丹波市からの委託を受け竹田・前山の両アフタースクールを運営している。

令和2年度は、前年度と比較して園児数が月平均20名程度減少したものの、利用定員を適正化し運営したことにより、安定的な健全運営を確保する資金として積立金111百万円を取り崩さず維持することができた。

(参考までに記す：社会福祉充実残額は約△86百万円)

- 事務長職の設置に伴い、必要な規則規程の改正を行った。
- 職員の処遇改善について、丹波市や兵庫県の補助制度を活用し改善に努めた。
- 人材確保について、年度途中入所への対応、職員の負担軽減を図るため必要な職員数を確保するとともに、良質な雇用を創出するため新卒1名を新規採用した。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、丹波市からの支援を受け必要な備品や用品を購入し感染症対策を実施した。

II. 認定こども園あいいくの丘

- 利用定員 135名 (1号認定児 25名、2号・3号認定児 110名)
- 保育日数 2・3号認定児 297日(内希望児土曜保育50日) 1号認定児 206日
- 令和2年度園児数

令和2年度 在園児数																
1号認定	年齢	認定区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
	3歳児	教育標準	10	10	10	9	8	8	8	8	8	8	9	9	105	
	4歳児	教育標準	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	85	
	5歳児	教育標準	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	6	54	
	小計		21	21	21	20	19	19	19	20	20	20	21	23	244	
2・3号認定	0歳児	標準時間	1	1	1	4	4	4	4	5	6	5	5	5	45	
		短時間	1	2	2	1	1	2	2	5	7	9	9	9	50	
	1歳児	標準時間	6	5	5	6	7	7	7	7	6	6	5	5	72	
		短時間	8	9	9	8	10	10	10	10	10	11	12	11	118	
	2歳児	標準時間	11	11	11	11	11	12	13	13	12	12	12	12	141	
		短時間	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	167	
	3歳児	標準時間	10	10	11	11	12	12	12	12	11	11	10	10	132	
		短時間	11	11	10	12	12	12	12	12	12	12	13	12	141	
	4歳児	標準時間	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132	
		短時間	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	167	
	5歳児	標準時間	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	139	
		短時間	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	155	
小計			111	113	113	117	121	123	124	127	127	129	129	125	1,459	
合計			132	134	134	137	140	142	143	147	147	149	150	148	1,703	

(4) 職員数

・令和 2年 4月 1日・・・56名

事務長1名、園長1名、副園長1名、主幹保育教諭2名、管理栄養士（給食室主任）1名、看護師1名、保育教諭30名（内保育リーダー4名）、保育士4名、保育補助3名、栄養士1名、調理師2名、事務職員2名、バス運転手2名、アフタースクール指導員5名

・令和 3年 3月31日・・・55名

事務長1名、園長1名、副園長1名、主幹保育教諭2名、管理栄養士（給食室主任）1名、看護師1名、保育教諭29名、保育士4名、保育補助3名、栄養士1名、調理師2名、事務職員2名、バス運転手2名、アフタースクール指導員5名

(5) 行事

月	主 要 業 務 事 項
4	4.入園・進級式、保護者会総会（中止） 8.竹田前山小学校入学式（祝電のみ） 家庭訪問（中止）
5	大原まつり（中止） 花まつり（中止） 田植え体験（中止） 14.職員研修 指導主事による園内研修（中止） 21.オープン参観日・引き渡し訓練（延期）
6	しょうぶまつり（中止） 中学生トライやる（中止） 20.クラス懇談会
7	3.チャレンジ保育 5.奉仕作業 15. 5歳児健診 夏祭り（中止） 27.福知山市巡回相談 28.29.30.プール参観（クラス毎）
8	4.プール参観中止 12.サッカー教室 1~31. 1号認定児夏休み
9	3.ぶどう狩り 6.奉仕作業 親子遠足（中止） 20.竹田小学校運動会不参加 20.前山小学校運動会参加
10	3.園内運動会 6.入園説明会 3.たいよう組バス遠足（年輪の里） 13.いもほり 15.ほし組バス遠足（三ツ塚公園） 16.にじ組バス遠足（三ツ塚公園） 19.そら組バス遠足（三ツ塚公園） 20.ひかり組バス遠足（年輪の里） 22.丹波市就学時健診 22.つき組バス遠足（三ツ塚公園） 資源ゴミ回収（中止）・・・ムッレハウスの奉仕作業を行う 27.絵画教室（ひかり、たいよう組） 30.オープン参観・引き渡し訓練 ※竹田祭りコロナウィルス感染症対策の為中止
11	4.総合避難訓練 5.ひかり組ムッレファイナル 6.たいよう組ムッレファイナル 11.指導主事による園内研修 13.収穫祭・ハロウィーン 18.5歳児健診 19.20.竹田前山小学校音楽会練習会見学
12	5.あいいくフェスタPart1 10.人形劇鑑賞（劇団バク） 11.もちつき（見学のみ） 15.ちーたんサンタ来園 15.特別支援児訪問 18.クリスマス会 21. 1号認定児冬休み
1	8.新年おめでとう会、七草がゆ、巡回相談
2	2.豆まき会 6. あいいくフェスタPart2 10.5歳児健診 16.竹田前山小学校説明会 19.しいたけ菌打ち（ひかり組） 24~竹田前山小学校体験登校・入学 25.入園説明会 ※福知山市立各小学校事前保育参観、引継ぎ
3	3.ひなまつり会 5.お別れ会 9.お別れ遠足（たいよう） 19. 卒園・修了式 20. 1号認定児春休み

※週・月間行事・・・絵本貸し出し、誕生会、英語あそび、避難訓練 交通・安全教室

※年間行事・・・ムッレ・クニュータナ教室（春・秋）、クッキング保育

野菜作り・収穫・クッキング、裸足保育、小学校との交流、地域との交流

※実習受入状況

- ・保育園実習（湊川短期大学）2名・・・令和2年8月17日～28日
令和2年10月5日～16日
- ・幼稚園実習（関西国際大学）1名・・・令和2年9月1日～14日
(華頂短期大学) 1名・・・令和2年9月2日～25日
(関西女子短期大学) 1名・・・令和2年9月7日～18日

(6) 保健衛生

月	主 要 業 務 事 項 (園行事等)	
6	8. 22 内科検診	9.30 検尿検査
7	6. フッ素洗口開始 (洗口指導)	
9	10. 歯科検診	24. 未就園児健康講座
10	内科健診 (中止)	たいよう組親子対象歯科指導 (中止)
2	25. 入園進級説明会において看護師より健康講話	

- ※ 月1回身体計測 週1回 清潔検査（爪、髪） 隨時希望保護者との健康相談
- ※ 体調不良児 70名
- ※ 職員健診 5月末～3月末 全員受診 ※ 職員インフルエンザ予防接種
- ※ 7月薬剤師により環境調査、3月コロナ感染症対策について来園

(7) 食育活動（給食室）

月	主 要 業 務 事 項
4	20. 食材ウォッチング 24. 誕生日会
5	えんどうのスジ取り(中止) 食材ウォッチング 5歳児保護者給食試食会(延期) 25. さつま芋のつるさし 給食参観(中止)
6	16. たいよう組よもぎパン作り 19. 食材ウォッチング 26. 誕生日会 保護者クッキング(中止)
7	14. 食育講座(わくわく) 16. 食材ウォッチング 17. 誕生日会 5歳児保護者給食試食会(中止)
8	とうもろこし皮むき(中止) 20. 誕生日会 ブルーベリー摘み(中止)
9	ブドウ狩り(中止) 食材ウォッチング(中止) 18. 誕生日会 4歳児保護者給食試食会(中止)
10	8. 芋堀り 12. ハローワインパーティー 16. 誕生日会 19. 食材ウォッチング 28. つき組クッキング
11	13. 収穫祭 19. 食材ウォッチング 20. 誕生日会 0～3歳児保護者給食試食(中止)
12	5. フェスタのクッキー作成 11. 餅つき大会 18. クリスマス誕生日会 24. たいよう組クッキング
1	8. 七草がゆ 15. 誕生日会 19. 食材ウォッチング
2	2. 豆まき 12. 誕生日会 ひかり組クッキークッキング(中止) 19. 食材ウォッチング
3	3. ひな祭り誕生日会 5. お別れ会リクエストメニュー 16. 食材ウォッチング

- ※ 3色群分け 食事のマナー指導 給食献立掲示 アレルギー対応

(8) 特別支援

対象園児 5 名・・・コーディネーター 1 名、加配保育教諭 4 名-

(9) 認定こども園運営の概要

① 保育・教育

- ・令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症対策により新しい保育様式を行う必要性が生じ、発生状況及び行政からの通知等を確認しながら日々の保育及び行事を見直していった。
(保護者への発信内容等は別紙のとおり)
- ・園の目標である「五感で四季の移り変わりを感じ、自然と共にたくましく育つ子」を常に意識しつつ、コロナ対策を取りながらの活動となった。またネットワーク会議等において密にならない活動方法等を模索しながら野外活動の充実に努めた。
- ・幼児期から児童期における教育の連続性・一貫性を大切にし、「学びの芽生え」を培うべく、園内研修において「人と関わる力」、「生活する力」、「学ぶ力」の三つの柱を掲げたカリキュラムを作成し、日々の保育の充実に励んだ。
- ・園が子ども達にとって楽しく、居心地のいい場所であることを常に意識し、子ども達の興味や関心、発達状況等にふさわしい環境構成を基本にしつつ、保育活動や給食時等の密をさける環境に努めた。
- ・卒園児の令和 3 年度の入学先は、丹波市 4 校、福知山市 5 校、三田市 1 校の合計 10 校であったが、各小学校とは 4 月当初から連携を深め、子ども達がスムーズに小学校生活を送れるように配慮した。
- ・また、令和 3 年度より転居等により他園に転園する園児に対しても情報交換や指導要録の送付等を行った。
- ・例年実施している各種団体の方々との交流に関しては、新型コロナウイルス感染症対策により中止し、丹寿荘との交流はビデオ撮影の形に変更した。
- ・アレルギー対応については、看護師及び管理栄養士の指導の下で職員全員において情報共有しているが、具体的な内容について、再度保護者と確認する必要があるケースが増えている。
- ・食育活動として野菜の栽培や米の生長観察を行ったが、感染対策として自分で触れたものだけを口にすることに配慮したクッキングを行った。秋に実施している収穫祭は、収穫した野菜を調理室で調理し、4・5 歳児はマイラップでのおにぎりを昼食とした。
- ・感染症については、新型コロナウイルス感染症対策として今まで以上の消毒や換気、マスクの着用等を行ったため、例年よりインフルエンザや風邪等感染する病気がはやることはなかった。
- ・支援の必要な園児、保護者に対しては関係機関との連携を十分に図り、また園内においても特別支援担当者の会議を定期的に開催し、支援方法について検討した。
- ・令和 2 年度は新卒者を 1 名採用し、バランスのよい職員体制を継続することが出来た。また、昨年度に引き続き県の保育人材確保対策貸付事業制度の活用や、意欲のある人材を確保する目的で、保育補助として勤務しながら保育士の資格取得を目指す職員を継続的に雇用し、人材確保に努めた。
しかし、家庭の事情や子育て等により、令和 2 年度末に常勤職員 3 名が勤務時間に融通が利く常勤的非常勤に雇用形態の変更を希望したため、今後、バランスのよい職員配置について見直す必要がある。
- ・世界的な問題になっている新型コロナウイルス感染の対応について、看護師を中心に迅速に対

応して感染予防に努め、卒園式等も予防策を講じながら実施した。(保護者席の間隔等)

②職員研修

- ・丹波市教育委員会より講師として指導主事を派遣いただき、全クラス公開保育を行い、お互いの保育内容の見学や意見交換等、よりよい保育を行うために園内研修の充実を図った。
- ・丹波市のキャリアアップ研修以外の研修に関しては、ほとんどウェブ開催による研修となつており、新人研修、保育教諭研修、調理師研修、主幹保育教諭研修、園長研修等、それぞれの職務に適した研修をオンラインにより参加した。

③家庭との連携

- ・子ども達が親元から初めて離れ協同で生活することを常に自覚し、また新入園児に対して、園児は元より保護者の方も不安を感じることのないよう、きめ細かな連携を図ることを心掛け、誠意をもって保護者対応を行つた。進級児に対しても保護者の声には常に耳を傾け、また家庭での様子も把握しながら園と家庭との連携を大切にした。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に対して不安の多い家庭や、自粛要請期間中の自粛希望家庭に対しては、園との距離感を感じることのないようオンラインで担任との交流を図つたり、家庭で過ごすワークを配布したり、保護者の不安を少しでも減らすよう努めた。
- ・保護者の要望等に対しては内容をしっかりと受け止めたうえで、園としての方針がブレることなく、全ての保護者に対して公平であることを常に意識して対応することを心掛けた。
- ・各たよりやよい子ネット、ホームページ等を活用し、園での様子や子育て支援についての発信を迅速、的確に伝えることに努めた。

(10) 子育て支援室の開設

○ 開催回数年96回、利用者数539名（親子延べ人数）

- ・新型コロナウイルス感染症対策や緊急事態宣言等、教室事態は開催出来ない時もあったが、電話や個人的に相談に乗る等、基本的な子育て支援事業として週2回「わくわくひろば」を開催した。
- ・保育体験として園行事への参加を呼びかけ、わくわくひろばでの季節の行事を開催したり、また、親子で参加可能な野外活動として「森のオープンプレスクール」等を実施した。
- ・2名のベテラン職員を配置し、子育てについて気軽に話せる場づくりを常に意識し、地域の未入園児家庭に対する情報発信を心掛け、月1回、「わくわく通信」を発行し、各戸配布した。
- ・個人情報の関係もあり、地域の未入園児の把握が十分に出来ず、子育て支援が受動的になってしまわないか疑問が残る。

III. アフタースクールの運営

○ 竹田アフタースクール登録児童数 令和2年4月18名・令和3年3月 24名

○ 前山アフタースクール登録児童数 令和2年4月12名・令和3年3月 18名

- ・下校後の児童が安らぐ環境を意識し、安全で規則正しい時間を過ごせるように配慮した。
- ・個別支援の必要な児童に対して人員を配置し、個別支援を実施した。
- ・児童の様子については小学校との連携を十分に取り、小学校の先生にもアフターでの児童の様子を見学してもらう機会を作つていった。

- ・日々の利用について小学校や保護者との連携をしっかりと取り、下校の安全に務めた。
- ・例年、夏季休業中に民生児童委員との交流や、両アフタースクールでの合同バス遠足を実施していたが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、それらの行事の開催を中止した。

※月1回防災訓練の実施 ※指導員研修会参加（随時） ※保健衛生の講話（随時）